

令和元年度 人権推進審議会事前質問 回答

【質問者】 質問内容 1	<p>【津野田委員】</p> <p>私は、人権擁護委員の立場で参加しています。市の人権に対する取り組みが把握できたこと、それがしっかりと対応していることに感謝申し上げます。</p> <p>一般市民の方に理解をしていただくには、どの様に発信していくか。中には、動員をしなければ、事業として成り立たないという様なこともあるのではないかと思います。</p> <p>市が実施した事業の中で、特に効果的だった、こういうことを続けていくと、より一般市民に興味を持っていただけるのではないかという、そういう事業等がありましたら、教えてください。</p>
回答	<p>【市民協働推進課・生涯学習文化課】</p> <p>市では、人権に関する講演会やセミナーを通じて人権意識の醸成を行っています。</p> <p>人権啓発の観点からは、男女共同参画推進事業の映画上映会（つどい）には、子どもから高齢の方まで多くの市民の方にご来場いただいております。来場者アンケートでも、楽しみながら参加することができる映画上映やワークショップ形式等の啓発イベントを希望する声が多数寄せられています。同じく男女共同参画に関しては、パネル展において来場者が感想を書き込めるノートやシールアンケートを設置し、市民参加を呼びかけています。</p> <p>人権教育の観点からは、人権教育講演会に関しては、定員 150 名を見込んでいたところ 230 名にお越しいただきました。開催に際して、市内の様々な委員の方にもお知らせをしていますが、著名人を招致したイベントであり、市内外の一般の方々の関心も高かったものと思われまます。また、市独自の取組である市民人権講座については、昨今社会的課題となっているテーマからタイムリーな話題を複数取り上げたうえで、1 回だけの受講も可とし、参加者が関心を持った分野が人権意識の向上のきっかけとなるよう働きかけています。</p>

(以下は津野田委員本人より質問取下げのため参考掲載)

<p>【質問者】 質問内容 2</p>	<p>【津野田委員】</p> <p>高齢者について進捗状況にはありませんが教えてください。</p> <p>『「下野市高齢者保健福祉計画」に基づいて、自立支援と生きがいを促進するため、高齢者が…社会活動へ参加できる環境づくりの推進に努めます。』とあります。</p> <p>ところで、下野市シルバー人材センター事業への運営に要する経費の助成は？</p> <p>(高齢者の生きがいの充実や社会参加のため、雇用によらない臨時的、短期的就業機会を確保し、提供することにより、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与している、シルバー人材センターです。今 400 名以上の会員が活動しています。定年年齢が 65 歳となり、シルバー人材センターへの登録が減少していることや、今登録している方も高齢化していると聞いております。)</p>
<p>回答</p>	<p>【高齢福祉課】</p> <p>シルバー人材センターについては、平成 30 年度は市より 10,741 千円の補助金を交付しており、国からも同額が補助されています。これは、国で定める地方公共団体の補助等に係る規定に基づき、運営費、サポート事業費、創出事業費をもとに算出しています。</p> <p>令和元年度につきましては、11,539 千円の補助金を交付する予定で、約 80 万円の増額となっています。これは、「派遣事業」における事業実績の増加によるもので、県のシルバー人材センター連合会と連携して派遣事業を実施し、適正な就業スタイルの確立、就業機会の開拓・拡大に寄与しています。</p> <p>会員数は減少傾向にありますが、市でも会員数の増加を目指し、シルバー人材センターに関する広報、チラシ及びパンフレットの配布を通じ、高齢者が働くことを通じて生きがいを感じ、地域社会の活性化に貢献する組織であることを周知しています。</p> <p>今後とも、高齢者が社会の担い手として活躍する時代であるという意識の醸成に努めてまいります。</p>